

「10分の朝読書が何かを変える」

数学科 谷脇 翔

私はもともと本を読むのがあまり好きではありませんでした。中学生になってから「朝読書」で読む本を用意しなければならなくなり、書店で本を探しました。部活動で野球をしていたこともあって、元プロ野球選手でメジャーでも活躍した長谷川滋利さんの「適者生存 ―メジャーへの挑戦―」を買って読んだことを覚えています。ただ、どんな内容だったかはもう覚えていませんが、毎日本と向き合い、読むのは遅いですが少しずつ読み進めていきました。読み終わればまた書店で本を買って、朝読書の時間に読み、気付けばちょっとした空き時間にも読むようになり、読書に対する抵抗感がなくなったように思います。

高校生になってからは、『告白』（湊かなえ 著）、『半落ち』（横山秀夫 著）など推理小説を多く読み、中学生の頃より朝読書を楽しめるようになりました。高校2年生の時には、第1回本屋大賞を受賞した、『博士の愛した数式』（小川洋子 著）を読みました。「記憶が80分しかもたない」博士とその博士をお世話する家政婦さんのお話で、途中から家政婦さんの10歳の息子も加わって物語が進んでいきます。あまりに悲しくも温かい奇跡の愛の物語で大変素敵な作品ですが、それ以上に数学好きの私にとっては、数学の魅力や美しさが伝わってきて、初めて知った数学の知識をたくさんメモしたことをよく覚えています。

教員になってからは書店に行くのが楽しみの一つになり、興味のあるタイトルや関心のあるジャンルでよさそうな本があれば複数冊買うようになりました。お気に入りは『弱者の流儀 野村克也 31の考え』（野村克也 著）、『リフレクション ―自分とチームの成長を加速させる内省の技術―』（熊平美香 著）の2冊です。お勧めしたい本は『何のために「学ぶ」のか』（ちくまプリマー新書編集部 編）です。小説では映画化もされた『護られなかった者たちへ』（中山七里 著）がとてもよかったです。最近では『数値化の鬼』（安藤広大 著）を買って、朝読書では長編推理小説の『青空と逃げる』（辻村深月 著）を読んでいます。本が周りにある生活というものはいいいものだなと実感しています。

最後に、職員室の机に置いてある本で、高校1年生の時に読んだ『甲子園への遺言 ―伝説の打撃コーチ 高島導宏の生涯―』（門田隆将 著）で紹介される「伸びる人の共通点」を伝えたいと思います。高島導宏さんは元プロ野球選手で引退後に千葉ロッテマリーンズで打撃コーチを務めた方です。50代に一念発起し、社会科の高校教師となり「甲子園」を目指しますが、志半ばで病に倒れ亡くなりました。

この方の生き方や考え方から学ぶべきところが多くあり、本当に素晴らしいなと感じ、教員になってからもずっとこの本を手元に置いています。

たった10分の朝読書が知識の幅を広げ、想像力を養い、出会った本が「人生のバイブル」になるかもしれません。

【人生そのもので大切な「伸びる人の共通点」】

1. 素直であること。
2. 好奇心旺盛であること。
3. 忍耐力があり、あきらめないこと。
4. 準備を怠らないこと。
5. 几帳面であること。
6. 気配りができること。
7. 夢を持ち、目標を高く設定することができること。

※ 『告白』『半落ち』『博士の愛した数式』『護られなかった者たちへ』『青空と逃げる』は、図書館にあります。『甲子園への遺言』は、12月に購入予定です。

12月10日～16日は、北朝鮮人権侵害問題啓発週間です。

皆さんは、北朝鮮による拉致問題を知っていますか？皆さんが生まれる30年以上前に、17人の日本人が次々と姿を消しました。それが北朝鮮による拉致だと判明するまで、相当の時間を要しました。そして、現在でも、解決できていません。この機会に、若い世代の皆さんに、ぜひ拉致問題について深く認識してほしいと思います。

そこで、10月に下記の2冊の本を購入しました。

● 『13歳からの拉致問題 弟と家族の問題』(蓮池透 著)

北朝鮮に拉致され、24年後の2002年に日本に戻ってきた弟(薫)と自分の家族のことが書かれています。拉致問題の基礎知識もQ&Aの形で書かれており、大変わかりやすく読みやすいです。

● 『報道写真集 祈り -忘れるな拉致-』(新潟日報 編)

1977年11月、横田めぐみさんが新潟県で拉致されました。それから、40年以上もの間、めぐみさんの両親は拉致問題の解決に向けて、様々な活動と努力をされてきました。しかし、2020年に父親の横田滋さんが亡くなられ、滋さんの遺志を継ぐためにも拉致事件を風化させないためにも、この写真集が出版されました。ぜひ読んでみてください。胸を打たれます。

(『めぐみ』というアニメのDVD(25分)も図書館にあります。見たい人は、声をかけてください。)

～新刊紹介～

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| ○ 『銀河英雄伝説 1～3』 | 田中芳樹 【著】 |
| ○ 『水無月家の許嫁 2』 | 友麻碧 【著】 |
| ○ 『浅草鬼嫁日記十一 あやかし夫婦は未来のために 下』 | 友麻碧 【著】 |
| ○ 『探偵の探偵 桐嶋楓太の鍵』 | 松岡圭祐 【著】 |
| ○ 『関西人 VS 関東人 ここまで違うことばの常識』 | 博学こだわり倶楽部 【編】 |
| ○ 『東京ディズニーランドガイドブック with 風間俊介』 | 風間俊介 【著】 |
| ○ 『限りある時間の使い方』 | オリバー・バークマン 【著】 |
| ○ 『瓢箪から人生』 | 夏井いつき 【著】 |
| ○ 『時計仕掛けの太陽』 | 知念実希人 【著】 |
| ○ 『運動脳』 | アンデス・ハンセン 【著】 |
| ○ 『精神科医 Tomy の気にしない力 たいていの心配は的外れよ』 | 精神科医 Tomy 【著】 |
| ○ 『二人の嘘』 | 一雫ライオン 【著】 |
| ○ 『甲子園への遺言』 | 門田隆将 【著】 |

☆冬休み中の図書館の開館日☆

- 12月21日(水) 22日(金) 26日(月) 27日(火) 28日(水)

[11時から16時30分]

- 一人三冊まで貸し出します。
○ 1月8日の始業式の日、返却してください。

